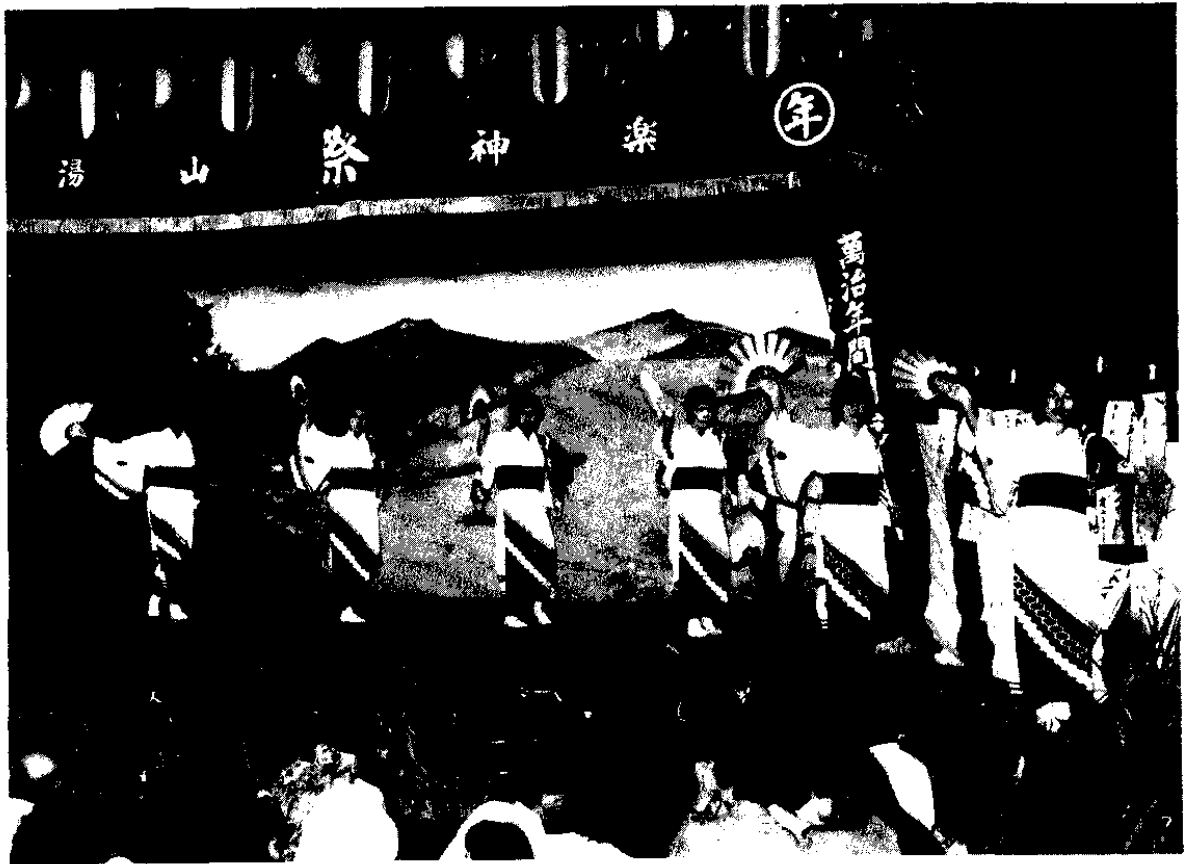


広報
まつのやま

1989 9 月号 (No.163)



秋の一番忙がしい時期
がやって来ました。
収穫の喜びとともに
日一日と涼しくなる季節の
変化に、一抹の
淋しさを覚えます。
八月末から九月初めにかけて
町内各部落で秋祭りが
行われました。
湯山の大神楽祭も
大変盛大でした。



人生50年型から80年型へ!



日本人の平均寿命は、昭和六十二年で男子七五・六歳、女子で八一・四歳と世界最高水準にあります。

人生五十年といわれた時代から戦後、急激に寿命が延びはじめ、現在では人生八十年といわれるまでになりました。

日本における高齢化を見ると、六十五歳以上の老年人口

比率が全人口の一・二%となつています。十人に一人の割合で六十五歳以上の方がおられると言う事です。では、新潟県と松之山ではこの老年人口比率はどうかと言うと、昭和六十三年十月一日現在で全国平均が一・二%、新潟県は一四・一%、松之山町は今年四月一日現在で二四・三

%となつており、全国平均より一三%以上も高齢化が進んでいる事になります。

この日本の高齢化は、世界の主な国々が五十年、百二十年かかる所を、わずか二十五年で達成してしまうという、世界に例を見ないスピードで進んでいます。

ちなみに、松之山町の六十

歳以上の人口比率はどの位かと言いますと、三五・〇%で何と十人の内、三・五人の方は六十歳以上となります。

この高齢化率の高い所を部落別に見ると表のようになり、六十歳以上では中尾部落、六十五歳以上では中立山部落が、それぞれトップとなっています。

部落人口に占める老年者の率 (平成元年4月1日)

60歳以上の場合			65歳以上の場合		
1	中尾	51.3%	1	中立山	39.1%
2	赤倉	50.0%	2	小谷	38.5%
3	月池	48.0%	3	中尾	35.1%
4	中立山	47.8%	4	藤倉	33.3%
5	大荒戸	47.5%	5	大荒戸	32.5%
6	小谷	47.0%	6	北浦田	32.0%
7	新山	46.0%	7	下鰻池	31.7%
8	藤倉	43.2%	8	新山	30.3%
9	下川手	42.6%	9	五十子平	28.5%
10	下鰻池	41.1%	10	湯山	28.1%
町の平均		35.0%	町の平均		24.3%

(例) 60歳以上の中尾部落の場合51.3%で部落総人口の半分以上の方が60歳以上だという事です。

人口減少率県内二位

高齢化の急速に進む原因の一つに人口減少が考えられます。

松之山町から町外に転出したり、亡くなられたりする人が、転入や出生によって増える人より大幅に多く、毎年百人以上人口が減り続けています。

昭和六十二年十月から昭和六十三年九月までの一年間で、県内市町村における人口減少率の高い所を見ると

- 三位 高柳町 二・七一%
 - 四位 松代町 二・五四%
 - 五位 安塚町 二・四九%
- となっており、松之山町は県内二番目に人口減少が激しいという結果が出ています。
- このように松之山の高齢化はまだまだ進みますが、それだけにお年寄りの皆さんからますます元気で活躍していただかないといけません。
- 人生八十年といわれる今日、老後に生きがいを持って頑張っていたらと思います。



高齢者スポーツ大会も年々盛大に行われるようになりました。

9月15日は「敬老の日」

もうすぐ敬老の日がやって来ます。お年寄りをうやまい、尊敬する日ですので、もう一度家族の中でおじいさん、おばあさんの存在を確認しあい、暖かく見守ってほしいと思います。

町内には沢山のお年寄りがおられますが、最高齢の方は天水越の福原タマさんで、明治二十一年十二月十日生まれの満百歳。今年の十二月には百一歳になります。

人生五十年といわれた時代に生まれ、百歳以上も長生き

されるというのは大変な事かと思えます。もつともつと長生きしてほしいですね。

現在、松之山町には九十歳以上のお年寄りが十五人います。健康でピンピンしている人、寝たきりの人と様々ですが、頑張つて長生きしてください。

昔から見れば二、三十年も長くなった老後、いわゆる「第三の人生」をどう充実させるかが今後の課題です。ふだんから健康に注意し、期待される元氣なお年寄りになってください。

松之山町における

高齢者の皆さん紹介

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| ① 福原 タマさん 満百歳 | ⑦ 山口 トメさん 92歳 | ⑬ 高橋 ツルさん 90歳 |
| 天水越(隠居) | 藤倉(柿の木) | 天水島(西) |
| ② 保坂 タツさん 96歳 | ⑧ 佐藤 マチさん 91歳 | ⑭ 福原 正さん 90歳 |
| 松口(富勢屋) | 天水越(栄や) | 東川(玉津や) |
| ③ 相沢 シサノさん 93歳 | ⑨ 小口 武男さん 91歳 | ⑮ 村山 ハルさん 90歳 |
| 小谷(油屋) | 松之山(みのや) | 松之山(隠居) |
| ④ 久保田 ヲヨさん 93歳 | ⑩ 村山 カネさん 91歳 | ⑯ 久保田 和七さん 90歳 |
| 新田(惣兵エ) | 赤倉(新屋) | 松之山(新発田) |
| ⑤ 相田 弥吉さん 93歳 | ⑪ 高橋 よ志さん 90歳 | ⑰ 久保田 コヨさん 89歳 |
| 大荒戸(中屋敷) | 天水島(重屋) | 新田(重兵エ) |
| ⑥ 高橋 スミさん 93歳 | ⑫ 小野塚 一平さん 90歳 | ⑱ 高橋 マンさん 89歳 |
| 中尾(中屋敷) | 東川(しも) | 黒倉(中林) |
| | | ⑲ 鈴木 次郎さん 89歳 |
| | | 下鵜池(福田屋) |
| | | ⑳ 石塚 サキさん 89歳 |
| | | 湯之島(金八) |

しめ切り迫る!

9月30日まで

ふるさと創生1億円の アイデア募集中

広報七月号でお知らせしました「ふるさと創生一億円」の使いみちに対するアイデアの、応募しめ切り日が迫って来ました。

この一億円をいかにしたら有効に使えるか、自然保護や人材育成、施設の整備等々、皆さんの知恵を待っています。今すぐ実現が可能なもの、または数年がかりで取り組まなければならないものなど、一人一点とは限りませんので何点でも応募してみてください。

応募のしめ切り日は、九月末日となっています。

ハガキや手紙など用紙の指定はありませんので、お気軽に役場総務課宛に送ってください。また、町外の方たちのアイデア、ご意見もお待ちしています。

無情の雨にたたられた

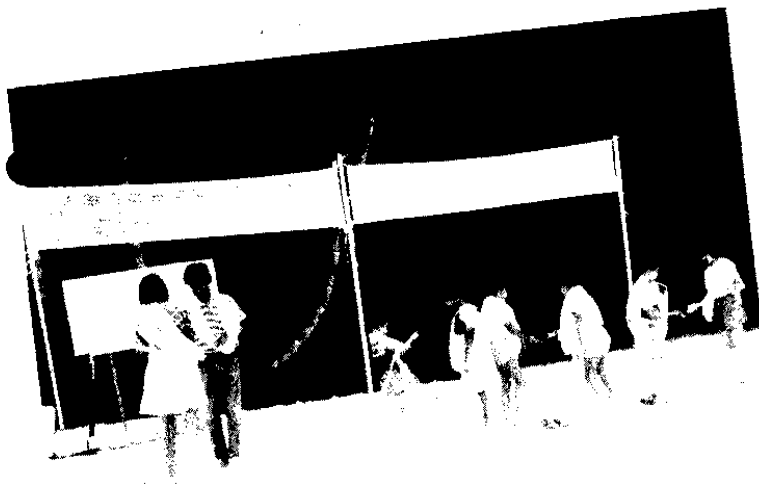
真夏の雪まつり



真夏に冬の感触を味わってもらおうと、二年前から実施している「真夏の雪まつり」。三回目となった今年も沢山の雪が貯蔵されており、その雪を使ってお盆の十四日に雪まつりが行われました。

会場となった大蔵寺高原の雪の広場には、早くからお盆帰省された家族連れなどが押しかけ、大変なごわいでした。午前十一時から雪上ジャンケン大会や、ジャンボ岩魚

つかみどり、雪上つなひき大会、馬ソリレースなどのイベントが次々と実施されましたが、残念な事に十二時頃から雨が降り始めてしまい、大勢の方が途中で山を下りてしまいました。しかし、最初にやった雪上ジャンケン大会。次のジャンボ岩魚つかみどり大会は、雨も小降りだったため定員いっぱい参加者があり、雪や水の冷たさも忘れてはしゃいでいました。ジャンケン



今年はいじめて行われた「雪上ジャンケン大会」、冷たさを克服して優勝したのは横浜の鈴木さん。



子供は雨なんかへっちゃら。びしょびしょになりながらもチューブ乗りを夢中!



雨の降り始める前は大変大勢の人たちが会場に詰めかけてくれました。



今年も行われた「ジャンボ岩魚のつかみどり」。魚の元気が良すぎてなかなかつかまえない子供もいました

大会は横浜から来た鈴木さんが、チビっ子たちに交って参加し見事優勝、クーラーボックスを手に入れました。

また、ジャンボ岩魚つかみどりに小学生以下の子供たち一〇〇人が挑戦。元気良く泳ぐ岩魚をびしょびしょになりながら追いかけ、大きい岩魚をつかまえた子供たちは、大変うれしそうでした。

雨のため時間を繰り上げて行われた「雪上つな引き大会」。十チーム出場予定が五チームの参加と少し淋しかったのですが、雪の冷たさを必死で我慢しながら頑張るチームに、大きな声援が飛んでいました。今回初めて企画した「ポップ

スレー大会」の頃はかなり強い雨となり、見物人も随分少ない中行われ、急造の三チームが挑戦、町青年団チームが一位となりました。

何とも恨めしいこの日の雨でしたが、売店の方は順調でかき氷、やきそば、バーベキュー、岩魚の塩焼きなど売り切れが相次ぎ、ここだけはいつまでもにぎやかでした。

全体をとおして、天候が悪く雪の上でもいっきり遊んでもらえなかったのが大変残念でしたが、延千人近い方たちがこの雪まつり会場を訪れてくれました。来年こそは期待してください。



初めてやった「馬ソリリレー」。雨で出場チームが少なかったのが残念!



恒例となった「雪上つな引き」。いつ見ても冷めたそう

浦田に民宿誕生

「渋海リバーサイドゆのしま」

Open

山村留学・豪雪塾等で地域づくり、活性化に一生懸命取り組んでいる浦田地区に、この程、温泉付きの民宿が完成し、お盆の十五日から営業を開始しました。

この民宿は、湯之島部落の浦田中学校近く、渋海川沿い

に建てられており、名前も「渋海リバーサイドゆのしま」となっています。この特長は、近くに昔から湧き出していたという「湯田の湯」を使った温泉風呂がある事、そして、スナック「豪雪塾」が併設されている事です。

この民宿が建てられた目的の一つは、浦田から一家して町外に出られた方たちが、ふるさとを訪れたくとも家がななく気楽に泊まれる所がない。また、豪雪塾等で浦田の良さを知った人たちが、塾以外のときも来たいという要望が強

い事などがあります。もう一つは、地区の方たちの憩いの場的な所が今までなかった事と、湯田の湯の有効な活用等があります。

建物の建設資金及び今後の

経営等は株式会社形態で行われ、地元や東京浦田会、豪雪塾の会などの方たちが株主となって運営されるそうです。

現在、代表取締役には飯塚建設社長の飯塚哲郎さんが就任しています。

この民宿「ゆのしま」の竣工式が十二日行われ、株主及

び関係者ら百三十名程が出席、建築を請負った棟梁による屋根からのモチ投げやテープカット、鏡割りなどが行われた後、出席者全員が民宿の中を見学しました。

また、この日は近所の方たちにお風呂を開放し、湯田の湯にゆつくりつかってもらえるようになっていきました。

民宿とスナック、理・美容室を備えた「渋海リバーサイドゆのしま」。地域の核として沢山の人からの利用を待っています。

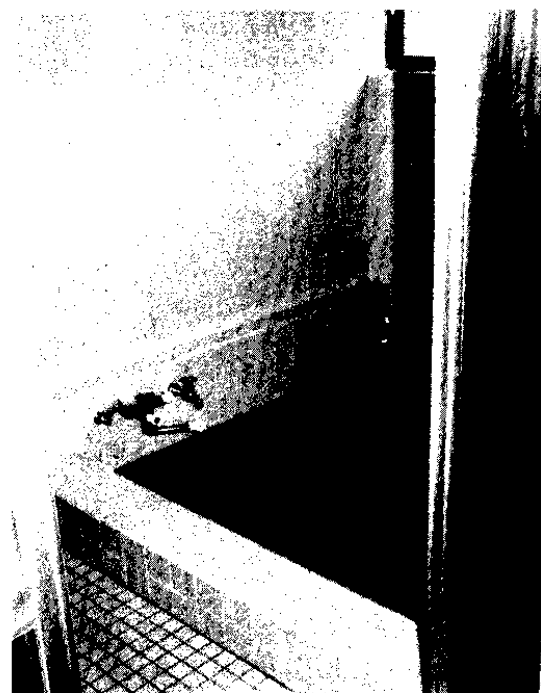
この民宿の特長は浦田の「湯田の湯」を使った温泉がある事。近所の人も利用出来るそうです。



棟梁の手によって祝いのモチまきも行われた竣工式。スナックと理・美容室が併設されています



オープンを祝っての鏡割りが正面玄関で



地域づくり提言

論文・作文募集

新潟県では「二一世紀・輝く新潟のために」をテーマとした提言論文・作文を募集します。

▽募集内容

個性豊かで活力ある明日の新潟県を築くために役立つと考えられる具体的な地域づくりの提案。例として「雪を利用したまちづくり」、「高齢者の住みよい地域づくり」等。

▽応募資格

県内の方ならどなたでも結構です。

▽形式

四〇〇字詰め原稿用紙三枚から二〇枚程度。

▽応募方法

別紙に氏名と住所・年齢・職業（学校名・学年・勤務先）電話番号記入。

▽締切り

十月十四日（土）まで

▽表彰

ふるさとオピニオン賞 十名程度を予定（賞状・賞金一〇万円と記念品）

▽表彰式

十一月月上旬に審査し、中旬に表彰を行う。

▽送付先・問い合わせ先

〒九五〇 新潟市新光町四番地一

新潟県企画調整部克雪・地域振興課内

「地域づくり提言論文・作文募集係」まで。

尚、作品は一人一作品とします。



恩給欠格者

の皆さんへ

ソ連またはモンゴル地域で 強制抑留中死亡された 遺族の皆さんへ

戦後、強制抑留され、本邦に帰還された方々等に対しましては、平和祈念事業特別基金等に関する法律に基づき慰労品等の贈呈を行っているところでありますが、この度、新たに、戦後、ソ連またはモンゴルの地域において強制抑留中に死亡された方（帰還途上死亡された方も含みます）のご遺族で、平成元年九月一日において日本国籍を有する方にも内閣総理大臣名の慰労品（書状・銀杯）を贈呈する

ことになりました。

慰労品の贈呈は、請求に基づいて行うこととしておりますので、請求される方は、役場住民課福祉係の所に用紙がありますので、相談に来てください。請求の期限は、平成五年三月三十一日までです。

請求書類の送付先

〒一一二 東京都文京区大塚
五―三―一三

平和祈念事業特別基金（総
理府所管）業務第二課

この度、いわゆる恩給欠格者の方のうち、外地等に勤務した経歴を有し、加算年を含めた在職年が三年以上で、請求時において日本国籍を有する方には書状（内閣総理大臣名）を、更に、七十歳以上の方には高齢者の順から銀杯を贈呈することになりました。

ただし、次の方々は、この事業の対象になりません。
▽恩給法でいう旧軍人軍属であって、年金たる恩給または旧軍人軍属としての在職

に関連する年金たる給付を受ける権利を有する方。

▽恩給欠格者の御遺族及び戦後、ソ連またはモンゴルの地域に強制抑留され日本に帰還された方。

▽戦傷病者戦没者遺族等援護法上の軍属「雇員、傭人、工員等」及び準軍属の方

※該当すると思われる方は、役場住民課福祉係に請求してください。

8月 フォト ニュース



子供たちによる八木節

二階笠がかわいく踊られました

お盆のにぎやかさがまだよく収まらないのに、もう秋祭りの時期がやって来ました。時の流れの速さをつくづく感じさせられます。

八月末から九月初めにかけて町内各部落で秋祭りが行われますが、湯山の神楽祭も八月二十六日の夜、神社の境内に舞台をかけてにぎやかに行われました。

一時途絶えていた湯山神楽を復活して舞うようになってから、今年で二十一回目とい

2 町内各地で秋祭り 湯山神楽祭にもぎやかに

う事で、堂々とした神楽舞いを観客に披露していました。

この湯山神楽祭では、神楽ばかりでなく、保育園児から老人会の皆さんまで部落総出で踊りや歌を披露したほか、飛び入りコーナーも設けられ、脚に乗った観客が自慢の喉を聞かせていました。

今年は寸劇「三九郎狐の化けくらべ」も演じられるなど、内容も豊かな神楽祭でした。

この伝統を長く守ってほしいですね。



大神楽 獅子の舞

第二次世界大戦で韓い命を失われた方々の追悼慰霊祭が、今年も八月二十三日に松之山公会堂で行われ、遺族・関係者ら多数が出席して亡くなられた方たちの霊を慰めました。

この日は残暑が大変厳しかったのですが、公民館いっばいの方が集まり、町内五つのお寺の住職さんが読経される

中、一人ひとり静かに焼香に立っていました。

戦後四十四年が過ぎようとしている現在でも、戦争に行かれた人や遺族の方たちの中には、忘れる事の出来ない悲しみ、今もずっと残っている事でしよう。悲惨な戦争が二度と起きないよう祈りたいものです。

1 8月23日戦没者追悼慰霊祭



大勢の遺族が出席して行われた慰霊祭（松之山公会堂）

3 魚のおろし方講習会公民館浦田分館

皆さんはハマチ、カツオ、サバなど、一匹ものの魚を三枚におろす事が出来ますか？
最近はこの家庭でも半加工された魚を買って食べる事が多くて、魚を一本丸ごと買って調理する事はほとんどないかも知れません。

公民館浦田分館では、分館事業の一つとして「魚のおろし方講習会」を計画、八月二日の午後、武田教頭先生と細谷先生を講師に、地元のお母さんら十名ほどが手解きを受けました。

講習会はまず、カツオの三枚おろしから始まり、シメサバの作り方、大きなハマチのさばき方、イカの刺身の作り方と、この日の朝、直江津で仕入れて来た新鮮な魚を使って行われました。自分で調理した魚は家に持ち帰えられるという事で、参加した方たちは真剣そのもの。なれない包丁さばきぶりでしたが、「やってみれば意外と簡単」と、自信を持って帰えられたようです。

武田教頭先生の
みごとな包丁さばきを見ながら
勉強した参加者の皆さん



五つのコートを使用して行われたゲートボール大会
年々盛んになって来ています（松之山小学校）

4 19チームも参加した第6回町ゲートボール大会

町内のゲートボール熱も年々向上し、部落でゲートボール場を造った所が何カ所も出るほどになりました。また、競技者は勿論、審判員の資格を取る方も大変多くいて、人気が高さが伺えます。

八月二十五日には、町内ゲートボール愛好者の皆さんが松之山小学校グラウンドに集まり、第六回の松之山町ゲートボール大会が開催されました。この大会には各地区・部落

の老人クラブの代表など十九チームが参加して、大変盛大な大会となりました。中でも、今年二面のゲートボール場が完成した黒倉部落からは、若い二チームを合お四チームが出場、意気込みを見せてくれました。

試合の方は、五つのコートを使って予選リーグ、決勝トーナメントが戦われ、その結果、川手A・Bが二位を独占、二位に湯本が入るとい

う、川手チームの頑張りが光った結果となりました。

朝九時から開始され、終了したのが午後四時過ぎと、一日たっぷりゲートボールを楽しんだ皆さんでした。

▼大会成績

- 優勝 川手Aチーム
- 準優勝 川手Bチーム
- 二位 湯本チーム

5 旧松之山小学校黒倉分校に記念碑建立

住民総出で完成を祝う

昭和六十二年二月末をもち、長い歴史を閉じた松之山小学校黒倉分校。

この程、その長い伝統を後世に伝えるため、この学校を卒業した同窓生や部落の方たちが寄附金を出しあい、グラウンドの一角に立つばな記念碑



建立を記念してのテープカットが関係者の手で



小学生全員によって記念碑の除幕が行われました



大きな記念碑

を建立しました。大きな自然石を使うべく建てられた記念碑の中央には「黒倉校跡」という文字が刻み込まれ、裏には寄附された皆さんの屋号が刻まれています。

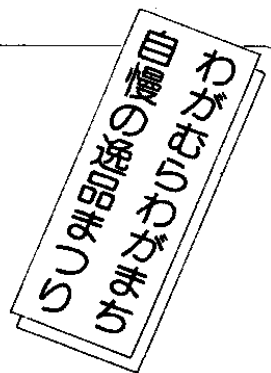
この記念碑の除幕式と祝賀会が八月六日の午後盛大に行われ、小雨のほらつくあいにくの人気でしたが、テープカット、小学生による碑の除幕、住民の皆さんによる風船飛ばしなど次々と実施されました。引き続き体育館の中では祝賀会が催され、記念碑建立までの経過説明や収支報告、功

績のあつた方の表彰などが行われた後、来賓の村山団長、阿部松之山小学校長、同窓生代表の高橋さんが祝辞を述べ、その後祝宴となりました。

旧黒倉分校校舎はそのまま集会所や合宿・イベントなどの場所として残され、利用されています。

県内においても市町村や商工団体・農協等が様々な取組みを行っています。

県では、県内で試みられている特産品を紹介したり、販路開拓を目的に「わがむらわがまち自慢の逸品まつり」を開催します。



このまつりは、九月二十一日(木)から二十六日(火)までの六日間、新潟市大和デパートで開かれ、松之山町からは「野鳥コケシ」が出品されます。

皆さん、機会がありましたら是非、会場を訪れてみてください。他の市町村の作品も大変参考になると思います。



町の体育協会からも表彰
を受けました
(町民体育大会のとき)

福原 賢君 (小谷)

新潟県体育協会より表彰される

この程、新潟県体育協会より平成元年度における県内の優秀競技者章受賞者の発表があり、松之山町から安塚高校松之山分校三年の、福原賢君(小谷土干場)が選ばれました。

福原君は、北海道旭川市で開かれた第四四回冬季国体のクロスカントリースキー少年組リレーで三位入賞に貢献したほか、第六七回全日本スキー選手権大会クロスカントリースキー少年男子一五キロで優勝するなど、一年生ながら大活躍しました。

現在、県の強化指定選手に選ばれ、より強くなるよう練習に励んでいます。本当におめでとうございます。

県大会で 堂々2位!

男女混合綱引き

八月五・六日と長岡市で開催された「第一回新潟県スポーツフェスティバル」に、上越地区代表として出場した男女混合綱引きチーム(天水島のメンバー中心)が、実力どおりの活躍で県内の強豪チームを次々と破り、堂々二位となりました。

この種目は、男子四人女子四人の合計八名で引っぱり合うもので、ブロック予選を勝ち抜いた八チームによって決勝トーナメントが行われました。松之山町チーム、優勝まであと一歩及ばなかったわけですが、大健闘でした。なお、このスポーツフェスティバルには、ゲートボール・男女混合ソフトバレー・婦人バレーボールにも松之山から選手が出場し、頑張ってきました。

文芸欄

俳句

俳句ばかりでなく短歌・川柳・生活詩等も掲載したいと思いますので、多くの方のご寄稿をお待ちしています。

風届かざる扇風機見ておりし
読経の調べ早まりつつ涼し
珠玉の音涼しくもまれ解かれけり

観音寺 村山 三二

束の間を笠に鳴かして油蟬
腹当てをすると老の手に負えず
病める身の蜩聞いて起き上がり

坂下 福原秋静子(益太郎)

目じるしは葉草干しある秋の宿
病床に窓の秋と長き日々
野路の秋湖畔の水冷やかに

坂下 滝沢 流石(銀作)

(親不知 市振行)
盆過ぎの波の淋しき親不知
晩夏光海を背にして遊女句碑
胸張って水着の乙女渚まで

小谷 鈴木 俊一

川柳

此処だけの話他方でも分けて行き
虫干しのように思い出みな語り

黒倉 草村 正孝

町史編さん
だよ

大蔵寺高原の

樹木

No. 27

筆者が松之山中学校で科学部の顧問をしていた頃、活動の一環として、大蔵寺のキャンプ場一帯の集積つけや、樹木の名札つけを始めたものでした。現在、松之山町史の自然編に関する調査をしているのですが、大蔵寺高原をはじめ、岩見堂、大松山の遊歩道を中心に、樹木等の名札が整備されているのを見て、感激し、その労苦に敬服しています。

さて、大蔵寺高原一帯は、

ミズナラ林が主体を占め、上部のきのこ園辺りからブナ林が優占していることはご存知の通りです。先日、キャンプ場周辺の自然遊歩道にどんな樹木が自生しているか調査してみました。以下、列記しますが、○印の種類は名札がついていたものです。



遊歩道で見られるブナの奇形

- マズミ ○オオカメノキ (ムシカ)
- リ) ○エゾユズリハ ・ ハナヒ
- リノキ ・ ホツツジ ○リヨウブ
- ウラジロヨウラク ○ユキツバ
- キ ○ユキグニミツバツツジ ○
- ブナ ○ハウチワカエデ ○ウリ
- ハダカエデ ○ヤマモミジ ○ヒ
- トツバカエデ ○コシアブラ ○
- ネジキ ○シラカバ ・ タニウツ
- ギ ・ ヤマツツジ ○アズキナシ
- アオハダ ・ カマツカ (ウシコ
- ロシ) ・ コバノトネリコ ・ ヒ
- メアオキ ・ ヤマボウシ ・ アク
- シバ ・ エンジュ ・ アカシダ
- ・ ナツハゼ ・ タカノツメ ・ ハ
- イヌスツゲ ・ ホウノキ ・ ヌル
- デ ・ ヒメヤシヤブシ ・ ヤブコ
- ウシ ・ アブラチヤン ・ クロツ
- ル ・ カスミザクラ ・ ツノハシ
- バミ ・ レンゲツツジ ・ ムラサ
- キシキブ ○ミズギ ・ サルナシ

実態を調べたことがありません。確かに、幹の肌は、およそブナとは思えないのですが、葉脈の数や毛の様子からやはりイヌブナではないという結論に達しました。なお、イヌブナの新潟県での生育は、いまのところ確認されていないということです。

また、佐藤輝因氏(天水越)が、オオバツツジの花を大蔵寺の山奥で見つけられました。これも珍しい種類といえます。

大蔵寺一帯の樹林は、春の



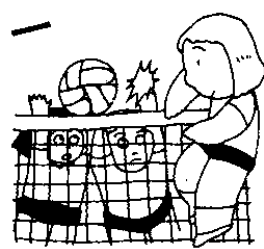
花の白さが鮮やかな春の花タムシバ

新緑、夏の涼、秋の紅葉、時季を問わず訪れる人の体と心にやすらぎとuringおいを与えてくれます。大蔵寺の自然そのものがすでに素晴らしい存在価値を持っているのですから、あまり外部から導入した樹木等移植しない方が、大蔵寺の自然を生かすことになると指摘される方がありますので、ご一考願いたいと思います。

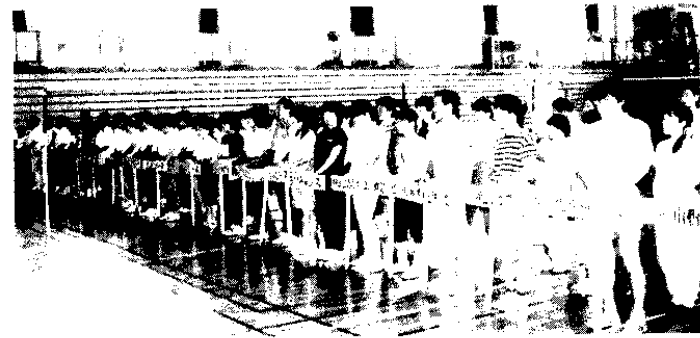
文責 城東中学校

山岸 秀夫

第2回 町民ミニバレー ボール大会



「それスパイク」ボールが柔らかくて思うようにいかないのが、このミニバレーボール



今回は昨年より10チーム多い26チームが参加



子供たちの楽しみはジャンケン大会

松之山町農協主催の第二回町民ミニバレーボール大会が、八月二十日に町民体育館で行われ、男女混合・フアミリー・女性組の三プロックに二十六チームが参加しました。昨年からは始まったこの大会、柔らかいボールを使う事から子供からかなり年配の方まで手軽に楽しめるスポーツとして、年々人気が出て、今年の大会には昨年より十チームも多い参加がありました。

午前九時から開会され、各組ごとに予選、敗者復活、決勝リーグと試合が行われましたが、どの試合も熱戦に次ぐ熱戦で、全部の試合が終わったのは午後四時過ぎでした。また、途中では中学生以下の子供たちを対象に「ジャンケン大会」も行われ、勝ち残った子供たちに豪華な商品が贈られました。

- ◎大会成績
- ▽男女混合組 (十チーム)
 - 一位 小谷コシヒカリチーム
 - 二位 上鰻池Eチーム
 - 三位 小野塚組十涌井チーム
 - ▽女性組 (七チーム)
 - 一位 ババリアンチーム
 - 二位 青春オーロラスピン
 - 三位 浦田バレーBチーム
 - ▽フアミリー組 (九チーム)
 - 一位 上鰻池Aチーム
 - 二位 // Cチーム
 - 三位 藤日会Hチーム
- ◎ジャンケン大会
- 一位 高橋加奈ちゃん(中尾)

戦没者等の遺族に特別弔慰金が支給されます

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法が改正され、昭和六十年四月一日から平成元年三月三十一日までに、公務扶助料・遺族年金等を受給していた遺族(戦没者等の妻・父母等)が失権していた場合に、残された遺族に特別弔慰金として、額面十八万円、六年償還の回償が支給されます。なお、第四回特別弔慰金(額面三十万円・十年償還)の支給対象となった遺族は対象となりません。

この特別弔慰金を受けるには、平成四年六月二十七日までに請求書を役場に提出しなければなりません。

役場の福祉係でも対象者を調べていますが、もしこの制度に該当すると思われる方がありましたら、役場福祉係にお聞きください。

何でも 質問コーナー

皆さんからのお便りをお待ちして
います。 役場議会事務局まで

大きな病気をした時、手術を受けて何カ
月も入院した場合、高額医療の制度がある
事は知っていますが、遠い病院になると一
時大変多くの医療費を支払わなければなら
ないと聞いています。

その制度について教えてください。

(湯山・老人)

お答えします。 現在、松之

山町国民健康保険は保険者徴
収制度を実施しています。保
険者徴収制度とは、医療機関
と松之山町が契約を結んで一
部負担金を医療機関の窓口で
支払わなくてもよい制度です。
町が一括医療機関に支払い、
一部負担金を立替えています。
立替えた一部負担金は納税日
に世帯別に集計し納入してい
ただいています。皆様もご存
じのとおり、お金を持つて行
かなくてもよいようになって
います。

ただし、ここで注意してい
ただきたいのですが、全国の
医療機関と保険者徴収制度の
契約を結んではいません。

現在、契約を結んでいる医
療機関は県内だけで、しかも
上越管内を中心に六十七医療
機関だけです。町民の利用度
の高い医療機関だけです。で
すから契約を結んでいない医
療機関に受診した場合は、窓
口払いとなり、一部負担金を
支払ってこなくてはなりません。
外来は受診した日に、入
院は退院時又は、月末に一部
負担金を支払わなければいけ

ません。

あつてはいけない事ですが
病气やケガで入院し、手術等
が伴った場合などは医療費が
大変高額になります。そうし
た場合でも、契約を結んでい
ない医療機関であれば、一部
負担金の三割分は窓口で支払
ってこなくては、いけません。
一部負担金が高額療養費支
給該当の場合は、二ヶ月後に
手続きと支給のため、その世
帯に通知いたします。

高額療養費の支給内容は、
八月号の広報に記載してあり
ます。

なお、平成元年度に保険者
徴収制度を実施している町村
は全国で八町村、それも新潟
県にあるだけです。

以上ですが不明な点が、あ
りましたら、なんなりとお聞
き下さい。(住民課 福祉係)



◎秋の全国交通安全運動

9月21日 ～ 30日

◎高齢者交通安全旬間

9月11日 ～ 20日

安全はゆずる気持ちと

待つゆとり

平成元年も、もう八カ月が
過ぎました。この間、全国も
そうですが新潟県においても
交通事故による死傷者の数が
昨年に比べ激増しています。
このまま行くと一年間の死
亡者数は、大変な増加が懸念
されます。事故に遭わない起
さないをモットーに、交通安
全に努めましょう!

お年寄りにやさしく

手をかす思いやり

九月十一日から二十日まで
は、高齢者の交通安全旬間で
す。



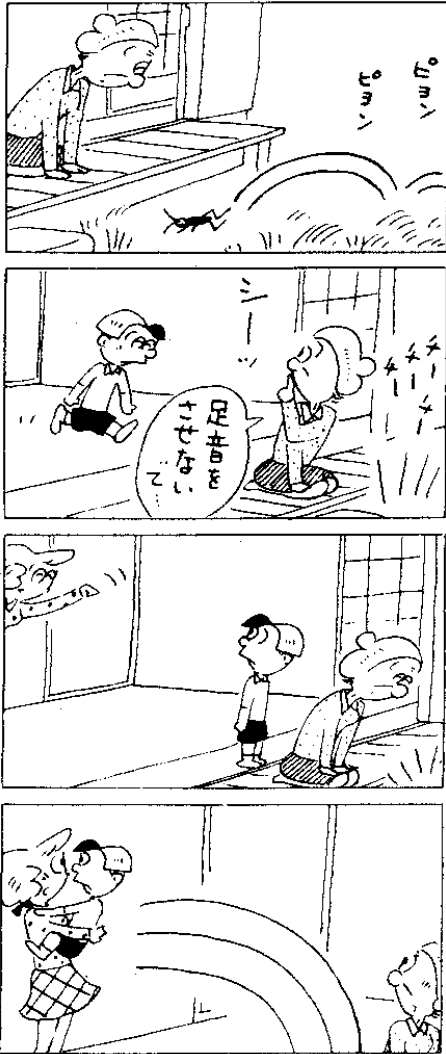
近年、高齢者が犠牲となる
交通事故が非常に多く発生し、
子供以上に深刻なものとなっ
ています。

新潟県の高齢者の事故件数
は、六月末で一、〇〇四件で
四十四名の方が亡くなってい
ます。昨年の同期と比較する
と、死者数で二十三人も増加
しています。

高齢者を見かけたらスピー
ドを落とし、徐行運転を心掛
けましょう。

さわやか君

西村 宗



ジバチ (クロスズメバチ) は 益虫です!

皆さんご承知のように稲刈りの季節になりますと、県外からジバチの巣採りに来ます。畦畔に大きな穴をあけてそのまま帰る人、良く直して帰る人といろいろいますが、このハチはツバメのように青虫やシマメイレイといった、農作物の害虫を食べる、いわゆる益虫(えきちゅう)です。

このジバチは刺されて死ぬような事はないようですが、益虫でもありますので、農作業するに危険な場所にある巣は仕方ありませんが、関係ない所にある巣はなるべく採らないようにしましょう。

県外から来る人たちにも益虫である事を認識させ、農作業に差しつかえない所の巣まで片っぱしから取らないように、また、後始末をしっかりするよう県外の人を見つけたら注意を促しましょう。



8月号の答え

なかなか死にそうもない白ですが、黒1のハネでコロリとまいてしまします。白2とオサえたとき、黒3と急所に打つのが大切な手順。

正解者
 若井千代松さん (小谷)
 村山 伸さん (湯本)
 久保田光荣さん (天水島)

詰碁

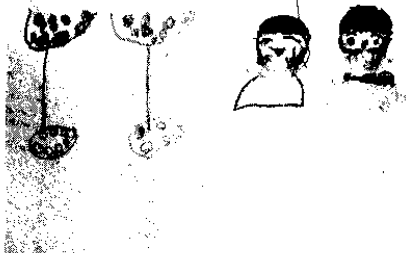
有段をめざして

詰碁の解答を募集しています。9月25日までにハガキなどで役場広報担当まで。正解者には粗品を進呈。

黒先生き (3手まで) セキにします。セキは生きです。
(3分で2段)



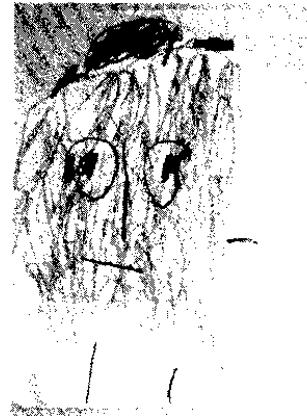
玉入れをしている所、みんなでおうえんしているよ



かおりちゃんと私が玉入れをしているところ



たきざわみゆきさん



ぼくが走っているところ



たかはしなみさん



しまだゆうくん

こよみ

- ▼8月のできごと
- 1日 大棟山博物館オープン
- 2日 臨時議会
- 4日 議会総務民生委員会
- 8日 // 建設委員会
- 9日 町老人クラブ役員会
- 12日 民宿ゆのしまオープン
- 14日 真夏の雪まつり
- 20日 第2回町民ミニバレー
- 21日 ボール大会
- 民生委員会

- 23日 町慰霊祭
- 24日 議会産業経済委員会
- 25日 町ゲートボール大会
- 29日 農業委員会総会
- 31日 農業共済嘱託員会議
- ▼9月の予定
- 4日 水稲損害評価打合せ会
- 6日 森林組合役員会
- 8日 法務総合相談(センタ)
- 10日 ライオンズクラブ認証
- 26日 9月定例議会(27日まで)

戸籍の窓

おめでとう(出生)

美ちゃん 久保田雅雄さんの長女 (曾根)
大地ちゃん 小野塚文雄さんの長男 (東川)

おくやみ(死亡)

村山 ヨリさん 80歳 (松之山) 彦八
福原 忠吉さん 67歳 (小谷) 下村
高橋勝四郎さん 80歳 (天水島) 角院

※8月1日から31日までの届出分です。

編集後記

各部落の秋祭りが終わると秋本番。猫の手も借りたくなるほど忙がしい時期になりました。

稲作の方も、やや遅れぎみとはいえ天候に恵まれ、豊作のようです。これから秋雨の時期を迎えますが、あまり長く続かなければと思います。また、農作業による事故・ケガが多く発生するものこれからです。十分注意してください。

町ではふるさと創生一億円の使いみちを募集しています。九月末日が締め切り日となっておりますので、気軽にどしどし応募してください。

九月一日の人口

総人口/三、九四二(▲二)
男/一、九三〇(▲二)
女/二、〇一二(▲二)
世帯数/一、一九六(十一)
()内は八月一日との比較
▲は減

広報まつのやま九月号

平成元年九月一〇日発行

発行/新潟県松之山町

六―三―三三

編集/議会事務局